

# 翔生

(しょうせい)



Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名(Young Entre-

平成5年(1993年)

3月1日号

通巻第14号

(年2回 3月・11月発行)

発行

全国商工会議所青年部連合会  
東京都千代田区丸の内3-2-2  
日本商工会議所中小企業振興部内

TEL 03-3283-7847

編集 広報委員会

preneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者=Youth, Energy, Generalist)を表わしています。

## 変革の時、今、YEGが未来を築く、 新しい時代の地域リーダーをめざして!

### 平成5年度会長抱負

### 「一生感動、一生青春」 のYEGに



5年度商青連会長  
櫻井 誠己

私達を取り巻く社会は、21世紀へ向けて大きく変化していきつつあり、また変革をして行かねばならない時代である。私達の住むこの地球は、ますます一体的に結び付き、強めながら急速に小さく感じられつつある。また、一方、国という概念自体が陳腐化しつつあると感ぜられつつあるのが今日である。我が国経済においては、戦後の経済システムそのものが新たな壁に直面している。「規模の追求」と「低コストの追求」という目標を実現するための経済産業システムが新しい課題に晒されている。成長発展と調和を図っていくかばならぬ地球環境問題、高齢化を背景とした労働力不足、生産者だけでなく生活者の立場を視野に入れた「豊かな」と「ゆとり」の追求、日本の論理だけでは通用しない経済摩擦の激化などがその代表的なものである。これらの課題に対処出来る新しい経済産業システムへの転換が求められている。経済動向と同時に動いて来たのが日本の地域間格差の拡大傾向である。我が国は、戦後一貫して地域間格差の是正を政策の中心に置

いた。これらの変革は、避けて通れないのであり、積極的に挑戦を続けることが新しい時代を切り開いていくことになると思える。歴史の変革の時、そこには常に青年の力があつた。私達は、YEGとして、この様な時代に、チャレンジして行く勇氣と情熱が求められている。私達YEGの原点は、地域にあり、地域に根差しながら広い視野で考え行動して行かねばならない。そして、私達は、個性的な企業家精神を持ったリーダーであり、変化を探し、変化に対応し、変化をチャンスとして把えることの出来るリーダーが、地域にも、企業にも求められている。企業家精神の基本は、変革と創造。自由経済社会のもとでの企業発展があり、自立した活力ある地域も生まれてくるのだと思える。創立より10年を経た商青連は、今、新しい世代に入りつつある。この10年間に培われた成果を結集し、新しい変化の多い時代にチャレンジして行ける集団を目指すたいと考える。21世紀へ向けて今求められることは、革新的、創造的な企業家精神(Y.E.G. SPIRIT)が生々と根付いた個性ある企業・地域づくりであり、青年部の存在意義は、ここにある。また、商青連は、そのためのネットワークであると考え、商青連の主役は、それぞれの各単会であり、それぞれで展開している事業が、いかに活力を持ち、また、地域のため、会員のためになっているかが中心課題である。常に、その地域が我が町が、我が企業が、会員自らが、を念頭に置くことが、商青連の発展にも通じると考える。商青連は、昭和58年の設立以来今日まで、各地に設立されている商工会議所青年部の組織化を重点事項の一つとして取組み、商青連への加入促進、青年部の設置促進さらには、昨今では、青年部及びその代表者の呼称統一や、YEGに代表される青年部Iへの導入等を取組んできた。現在では、加入青年部は、306単会(平成5年1月現在)と拡充され、さらに拡大傾向にある。今後の組織のあり方を考える。商青連組織自体を見直す時期に来ているのではないかと思われ、93年度の課題の中心にしたいと考えているところである。私は、青年部で培われるものが、「一生感動、一生青春」ではないかと思つていて、詩人の相田みつをさんは、この感動とは、「感じ動くこと」。感じたら具体的に動く。感じるのは自分。しかも、それは、他人から強制されたり、命令されて、しぶしぶいやいやながら動くのではありません。自分の考えと、自分の意志で、よろこびをもって積極的に動くことです。常に、自ら感じて行動する。そして情熱を忘れない挑戦を続ける精神を商業し、続けたいと考える。

### YEG宣言

YEG宣言とは、本年設立10年の節目を迎えた商青連の今後の青年部活動、ポリシーのあり方、また中長期ビジョン的発想を踏まえた中で、4年度商青連役員がたびかさなる協議の上検討、作成し、4年度商青連神谷会長が全国(山形)大会において声高らかに宣言したものです。

### 〈宣言趣旨〉

商工会議所青年部会員は、YEG精神の下に、研鑽と交流を通じて、企業家精神をより一層高め、大きく成長していかねばならない。一人一人のYEGは、自らの企業の発展を原点として、さらに地域社会への貢献を考え、それぞれの夢に若さと情熱をもって積極果敢にチャレンジし、経済人としての自己実現を図っていかねばならない。

商工会議所青年部は、地域を愛している。活動の基盤を地域に置き、独自の歴史と文化、その地域の特性を十分活かして、豊かな住みよい地域を創造していく。一人一人のYEGが、そして若き企業家集団であるYEGが、次代の地域の担い手として、今後とも商工会議所活動の一翼を担い、より活力ある地域経済社会の実現に向けて全力で取り組んでいく。

全国商工会議所青年部連合会(商青連)は、すべてのYEGの連合体として、日本商工会議所の方針を踏まえ、YEG(若き企業家集団)のビジョンを内外に示し、各地青年部の活動支援・調整、組織強化を行い、そのネットワークを最大限に活かして、地域の枠を超え、青年部の活性化と機能強化を図っていく。そして、私は、また私たちは、全国的な交流を促進し、YEG精神の一層の高揚を図り、連帯の証となる。



YEG宣言 IN 山形

私はYEGとして、  
夢に挑む。

私たちはYEGとして、  
地域を愛する。

すべてのYEGは、  
連帯の証となる。



# 第十二回商工会議所青年部全国大会報告(山形)

## 全国商工会議所青年部連合会 設立十年記念山形大会

実行委員長 佐藤 善三郎



第十一回商工会議所青年部全国大会

第十回商工会議所青年部全国大会を、去る十月六日(金・七日)土の両日、山形県山形市の総合スポーツセンターを主会場に、山形県商工会議所青年部連合会の主催で開催されていたが、誠にありがとうございました。

特に今回は商青連設立十年の記念すべき大会に開催された節目の年に開催されたことにはたいへん光榮あり、また北は遠軽YEGから南は沖繩宮古YEGまで全国二百四十九回商工会議所青年部から二千四百二名のご参加をいただき、熱いご支援とご協力に重ねて御礼申し上げます。

大会初日、十一月五日は「地球時代」をキーワードに商青連設立十年記念「地球討論会」が開催され、神谷修彦全国商工会議所青年部連合会会長の挨拶に

つぎ徳増良平全国商工会議所青年部連合会副会長による主旨説明が行われ、グニエル・カルヒによる「故郷の国際化」と題した基調講演の後、四会場に分かれ「世界ビジネスマン気質・不思議の国日本を語る」地球が危ない! 環境問題を語る「企業は文化なり・ポーターレス時代の文化を語る」私にはあなたのコンサルタント・地域活性化の問題点を語るの三四テーマにより総勢十三名のパネラーと参加者による熱い分科会が行われた。三時間に及ぶ「地球討論会」の後には県内六県会が協力しあい、手づくりの大会となりました。

まず前日の十月五日に「商青連設立十年記念プログラム」をテーマとして二組八名の参加をいただき、グループワークが行われ、その後、のり指者懇親会には百六十名の方が出席された。大パーティーとなりました。

大会二日目、十一月七日は「時代は今、曲がり角」の認識のもと、「企業に求められるもの」と題して評論家・佐高 信氏による記念講演会が開催されました。今までの日本、企業経営者の考え方では世界として将来には通用しないこと、自己の確立の重要性とこれからの我々ほどのように考え行動していかなければならないかを率直にお話いただいた。我々主催する山形県にとってはある意味で勇気のある講師選定であったが、終了後の反響に安堵するとともに時代認識、問題意識を同一にできたとの充実感がありました。

その後もつと緊張するたきを迎えた、石川会頭を迎えての記念式典である。マルチビジョンと山形フィルム・エッセイ交響楽団の演奏により山形県が紹介された式



日本商工会議所 石川会頭



重要性和本大会の意義を強調された。後藤俊夫山形県商工会議所青年部連合会会長の歓迎の挨拶や来賓祝辞に続き、いよいよ「山形宣言」が青年部全国大会開催県「山形」県旗のもと神谷修彦全国商工会議所青年部連合会会長によって力強く読み上げられた。無事に式典を終了した後、山形名物「日本一の芋煮会」により昼食を主催させていただきました。行届きなど多々あったかと思いますが、全国のYEGの皆様から寄せられた深い理解と熱い友情に感謝申し上げます。このよさをまっさらした経験をもたせたいという全国商工会議所青年部連合会に御礼申し上げます。

本年十一月十一日から十三回大会が開催されます。第一折念いたしご成功を心より祈念いたします。

「私にはあなたのコンサルタント・地域活性化の問題点を語るの三四テーマにより総勢十三名のパネラーと参加者による熱い分科会が行われた。三時間に及ぶ「地球討論会」の後には県内六県会が協力しあい、手づくりの大会となりました。

まず前日の十月五日に「商青連設立十年記念プログラム」をテーマとして二組八名の参加をいただき、グループワークが行われ、その後、のり指者懇親会には百六十名の方が出席された。大パーティーとなりました。

大会二日目、十一月七日は「時代は今、曲がり角」の認識のもと、「企業に求められるもの」と題して評論家・佐高 信氏による記念講演会が開催されました。今までの日本、企業経営者の考え方では世界として将来には通用しないこと、自己の確立の重要性とこれからの我々ほどのように考え行動していかなければならないかを率直にお話いただいた。我々主催する山形県にとってはある意味で勇気のある講師選定であったが、終了後の反響に安堵するとともに時代認識、問題意識を同一にできたとの充実感がありました。

その後もつと緊張するたきを迎えた、石川会頭を迎えての記念式典である。マルチビジョンと山形フィルム・エッセイ交響楽団の演奏により山形県が紹介された式

## 何でも相談(Q&A)コーナー????

このコーナーは、全国の青年部活動における悩み、問題点などを集め、商青連スタッフがお答え、アドバイスしたものです。



**Q 私共青年部は発足して足掛け4年目に入ったところでございます。今までの青年部活動は青年企業人としての自己研鑽を主とし、学習と体験をかぎり無く挑戦することを目標に活動して参りました。日頃より会員との会話の中で話題になるのが同じ青年企業人の団体である青年会議所(JC)と商工会議所青年部との活動内容についての違いについてです。今後の会員増強を踏まえても会員全員が統一した考えで活動していくために、1. 活動内容 2. 各地域での位置付け 3. 親会である商工会議所の扱い方などについて各地域により違いは有るとは思いますが解答をよろしくお願い致します。**

北海道ブロック内青年部

**A** 前回でも質問の中に今回の質問と関連している点が多いですが、我々青年部活動の基本は、商工業界、経済界について地域の又、各自の街のビジネスに関する活性を考え、かつ発展推進することを図る。どちらかといえばJCさんはあらゆる広域性をもった活動であり、我々青年部は、経済専門の基盤とした活動から派生したものである。それは、中小企業者の支援活動もあり、又、親会議所のイベントへのパートナーとしての協力、そしてさらに会議所親会への街づくりの参加、上申を行う、又、地域の他団体へ活動アピール、そして行政団体、他団体へ参入を図り、商工会議所青年部を認識してもらう活動をする。

とかく活動をする中で、シンポジウムのシンポジウムをして、それで満足していることが多い。

一、始めに頭の活性……研修、講義  
二、身体活性……活動  
三、頭と身体活性……活動していったものから、さらに中身の研究→活動

上記の考え方は、街づくりの目的に向ってどのようなアプローチからクロージングにするかを一連の計画で方向づけして活動する処方だと思えます。それを各地域で考えてもらいたい。

最後の質問の親会との関わり、扱い方の質問ですが、もともと親会からの推選で形成されたものから、親と子である関係は密接なもの、但し質問の意味があまりよくわかりませんし、もっと中身を聞いてみたいと思えますが、会議所と青年部のパイプ役がいけないものでしたら、人を導入してもっと親会議所と交流を図るべきかと考えます。

組織強化委員長 奥野賢一

**Q** 商工会議所全国青年部にC Iが導入されYEGが制定されてから、はやいもので3年目を迎えました。このYEGは我々の単会青年部にもすっかり腰を据え、その主旨もコンセプトも各会員に浸透してきた様に思われます。又、このYEGは青年部内だけでなく、対外的にも全国的にひろがりを見せている様であります。そこで質問ですが、このYEGの名称・ロゴマーク等は正式に商標登録されているのでしょうか?

商工会議所青年部(YEG)におきまして、商標という言葉がふさわしいか否かはわかりませんが、今後このYEGが全国的に普及し、ますますひろがりを見せた際、例えば企業あるいは他団体等に使用される事もありうるのではないのでしょうか?

YEGとは商工会議所青年部唯一の呼称であり、その意味の持つ主旨もコンセプトも商工会議所青年部ならではのYEGとして位置づけをするために、商標登録の有無、又商青連として商標登録についての今後のお考えをご回答下さる様お願い申し上げます。

四国ブロック内青年部

**A** ご承知のとおり、商工会議所青年部のC Iは、平成2年度の商青連の特別事業として導入、その結果、YEGも制定されました。その際、商青連役員から、ご質問と同様の趣旨の問題提起がありました。専門家等にも相談をいたしましたが、既に商工会議所マークが商標およびサービスマークとして正式に登録されているので、青年部が商工会議所活動の一翼を担う組織であり、青年部のシンボルロゴマークが商工会議所マークとYEGという文字を組み合わせたというセットの形になっていることから、改めて新規に登録する必要はないという結論に達しております。この考え方は、現在でも基本的に変わりありません。しかしながら、YEGが制定されて2年が経過しようとしており、商青連活動の重点として、YEGの普及を強力に推進していく中で、それに対する各地からの反応の一つとして、商青連設立10年記念誌「翔けYEG」に掲載されているような数々のYEGグッズが誕生してきております。こうした動きが徐々に広がりを見せる中で、青年部マークが青年部関係者限りで使用される場合に特段問題はないと思われませんが、ご指摘にもあるような新たな状況が生じてくる恐れもありますので、今後商青連役員会等におきまして、本問題を再検討する必要も出てくるかもしれません。

商青連事務局

この一年を振り返って

曲がり角の向こう側の風景を最初に見るのは誰?



十四地域が第二次指定を受けた。生活などのすべての社会の仕組を、工業を基とした経済の発展を図るための最適システムにする。...

二月九日、十日富山市で開催された中央研修会を基調講演でお話したことを記す。この一年の振り返りに代えておきたい。...

平成4年 商青連会長 神谷 竹彦

平成5年度商青連役員名簿

(敬称略・順不同)

Table with columns: 商青連役職, 青年部, 氏名. Lists names of members across various regions like 会 長, 副 会 長, 専 務 理 事 長, etc.

新しい風(トレンド)を創ることが地域に住んでいて決めたこと。仕事なので、今までも。...

第10回中央研修会(富山)報告

はじめて東京をはなれて……



地方で初めて、そして最も寒さが厳しく変わります。...

研修会の主人公は 会員自身だ。『今迄の中央研修会が真としてのふざかしい役割を...』

富山実行委員長 河口 清隆. 『先ず地域の実情を知ること、そしてそこから地に足のついた商工会議所青年部の活動をとらえ直すこと...』

参考資料

第十回中央研修会終了時点での参加者アンケート調査を報告致します。...

中央研修会の幕は閉じた。一、今回初めての地方都市での中央研修会は如何でしたか。...









# 北海道ブロック

## 主幹・登別商工会議所青年部 設立20周年を迎えて

本日ここに登別商工会議所青年部創立二十周年を迎えられましたことは、一重に関係諸機関、諸団体の暖かいご支援と、地域の皆様方の深いご理解、ご協力の賜ものと厚くお礼申し上げます。

我々青年部は旧組織であり、まず登別商工会メンバーが中心となり、青年の情熱と実行力を結集し、地域経済の振興に寄与するとともに経営者としての資質の向上を図ることを目的として昭和四十七年七月一日登別商工会議所創立と同時に設立されました。

我々は、青年部に課せられた期待と責任を肌で感じ

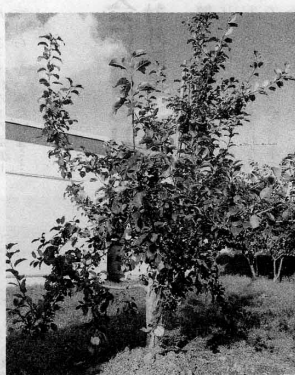
ながら、会員相互の親睦と情報交流を通じて、自己研鑽を重ね、一致協力して多くの事業に取り組み、画自賛ながら多大の成果を残して参りました。

中でも二十周年に渡り、ヤリテイパーティは社福祉向上の一助と喜ばれ、長い事業に定着して参りました。

又、郷土登別の活力を高める街づくりの調査研究、数々の地域活性化事業を企画実行し、行動する若者として昭和六十六年に地方登別で開かれた、東北・北海道ブロック運営研究会では小さな子部員全員が一丸と

なつて最大限に発揮し、地方都市登別において成功裡に密着した活動を展開するに自信を与え、さらなる結果も生まれ、対外的にも青年部の信頼度アップに繋がると、その後の活動に非常に大きなインパクトを与えたのであります。

青年部の成人式もいよいよ二十周年を迎え、我々青年部は先輩諸氏が築いてこられた数々の実績を踏まえ、次代を担う企業力、さらに独創性等を兼ね備えた商工会議所青年部にしていくことをお誓い申し上げます。



青年部の成人式の様子

# は商工会議所活動の一翼を担う

# さわしい団体!

# 活動レポート

当青年部では版画を通して街の活性化を目指す「版画の街・あおもり」構想を推進しています。

青森県は、世界的な版画の巨匠「棟方志功」一関野準一郎など国内のみならず、国際的にも有名な版画家を生んだ土地であり、こうした背景から、戦後も早い時期から教育版画に力をいれ、版画全国コンクールでは、常に上位入賞をはたし、版画王国として全国に知られています。

「版画の街・あおもり」構想は、教育版画の更なる向上を目指し、また県出身作家の評価を高めるなど

人としての役割を十分認識し、常に先頭に立って地域に密着した活動を展開することを青年部経営者としての本分であると考え、この「青春に年命はなく、青年に停年はない」との言葉通りに若々しく柔軟な発動力、さらに独創性等を兼ね備えた商工会議所青年部にしていくことをお誓い申し上げます。

## 東北ブロック

### 主幹・青森商工会議所青年部 「版画の街・あおもり」 青森版画展

人材の育成を図り、新たな版画文化活動に結び付け、版画を核として音楽や文学、演劇などと融合させ、青森独自の地域文化を育てようとするものです。

平成二年に当青年部が中心となり、実行委員会を組織し、市民美術展示館や市内のギャラリーにおいて青森版画展を開催しました。

この版画展の企画から運営まで、青年部が全体事業として取り組み、予想をはるかに上回る観客を動員することができました。

平成四年度は九月五日から十三日まで、九月間を会期として、市民美術展示館

## 北信越ブロック

### 主幹・滑川商工会議所青年部 「ほたるいかと光の街」なめりかわ

まず、わが街滑川を紹介することに致しましょう。

澄んだ空気、豊かな緑、清らかな水に恵まれ、背景には雄大な北アルプスの立山・剣峰を望む、四季の美観と自然環境に恵まれた快適な住環境を備えたところであります。

また、富山湾でとれる新鮮な魚は、毎日の食卓には欠かすことができません。春の訪れを告げる、ほたるいか観光は、滑川市の代表的な観光資源として県内外から多数の人がほたるいかの神祕に親しんでおります。

滑川市の人口は、三万一千人、隣接した富山市、魚津市の人口は、それぞれ三十万人、五万人あり、両市の狭間にある我々は、きびしい状況に置かれています。

青年部では、現状を打破する為に、分析調査を、滑川の活性化を図る努力しております。

また、富山湾でとれる新鮮な魚は、毎日の食卓には欠かすことができません。春の訪れを告げる、ほたるいか観光は、滑川市の代表的な観光資源として県内外から多数の人がほたるいかの神祕に親しんでおります。

## 関東ブロック

### 主幹・足利商工会議所青年部 「道の駅と地域交流について」



道の駅と地域交流についての話し合いの様子

会員55人が協力し合い、創意工夫、情熱を持って活動して参ります。

たとえば、本年度の目玉として市はほたるい、県内外の人々に滑川の美味しさを紹介する「なめりかわグルメ・ガイドマップ」を作成して参ります。

また、会員家族の親睦を図る為に「バーベキュー・クリスマスパーティー・スキー教室・ゴルフコンペ」等諸青年部連合会の副会長をを務め、第10回中央研修会が富山市で無事、行なわれたい事を厚く御礼申し上げます。

## 東海ブロック

### 主幹・鈴鹿商工会議所青年部 「二〇〇年の時間を越え、今、甦る大黒屋光太夫」

八時間耐久ロードレース、F1グランプリと鈴鹿市には世界的に有名なモータースポーツのイベントが開催され、当青年部も五年前より夏の八耐に合わせ、数々の事業に取り組んでまいりました。

また、サーキットのある街として有名になった鈴鹿市ですが、サーキット以外に何か目玉となる様なものはないだろうかと思えていた矢先、鈴鹿の生んだ国際交流の先駆者「大黒屋光太夫」を主人公にした、日ソ合作映画「おろしや国酔夢譚」の映画化が決まり、これをきっかけにして当青年部が市内52団体に呼びかけ、歴史の表舞台に登場する事になった光太夫を、歴史の表舞台に登場させ、まだ謎の部分の残る光太夫という人物を研究する為、「大黒屋光太夫の会」を発足させました。

大黒屋光太夫は、江戸時代の船頭で今から約二〇〇年前、白子港から江戸に向かう途中暴風雨に遭遇、アリューシャン諸島を経て、ロシア本土にたどり着き、幾多の困難を乗り越え、女帝エカテリーナ二世と謁見

山形教授は建設省道の駅懇談会の委員としても活躍中、未知の可能性を秘めている道の駅が地域活性化に果たす役割は大きいと説明、当研究会でもさらに広域ネットワークを付け取り組んでいくことになった。

夫のプロンス像を作成、光太夫ファンの方々に購入いただき、その収益金を考慮遊園地と光太夫の歴史活動の場として活用させていただきます。

会議所のロビーには光太夫コーナーが、地元企業から発売されている関連商品が所狭しと並べられ、又、光太夫の出版した白子港には、「おろしや国酔夢譚」の原作者、井上靖先生の碑文と記念碑が立てられ、TVの特集にもなり、是努力、教科書にも載る様に努めています。

今後、私達の夢は、ジョン万次郎の様に世間の人々に認知され、竜馬記念館の様々立派な資料館を立てる事があります。

今後とも光太夫を一時のブームに終わらせず、世間の人に知っていただく為に活動していきたいと考えております。



大黒屋光太夫の像と展示品

# 今、地域の可能性を見つけ出すの

# YEGが最もふ

# 全国青年部各地

## 中国ブロック

主菅・鳥取商工会議所青年部  
新・因幡の國づくり  
多久 和利

活動指針の中に必ず「街づくり」の問題を取入れて来た青年部では、昨年五月に成立し、八月から施行された「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置に関する法律」を、二十世紀に向けて地域活性化を進める為の国の最重要施策であると位置づけ、十月末に「地方拠点都市地域の指定に係わる特別委員会」を発足させた。

## 近畿ブロック

主菅・豊岡商工会議所青年部  
創立五周年によせて  
《新たな出発》

昭和六十二年創立された豊岡商工会議所青年部も、五周年を迎える事ができ、ご来賓の方々並びに各地青年部の皆様をお迎えし、記念式典、祝賀会を盛大に開催することができました。これを今とても嬉しく思い、また二出席の皆様方の心よりの感謝とお礼を申し上げます。

## 多 久 和 利

面国から成り、県東部は因幡国に当る所から、十五町村の行政部門が構成する鳥取県東部開発促進協議会の構想、魅力ある新因幡の国の創造を講じている。

第一回会合では、青年部会員でもある鳥取市の企画課長から、この法律の概要と、鳥取市を中心とする県東部十五町村がこの問題について具体的にどのような構想を練り、どの様な動きをしているのかの説明を受けた。鳥取県は因幡・伯耆

## 因幡の國づくり決起大会



の瞬間、塔から奉投された宝木をめがけ、肉弾相打つ勇壮な宝木争奪戦が繰り広げられる……  
総本山善通寺大会場（通称はだかまつり）のクライマックスは、クスの原木に幾種類もの名香をききしめ、真言密教の秘法をこらし加持祈禱された霊木既ら、「宝木」の福を奪いあう「福奪い」の場面である。

## 九州ブロック

主菅・豊後高田商工会議所青年部  
「燃える大たいまつ」

羽生愛読者の皆様方お元気ですか。今回は、豊後高田市の今から九百数年の長い歴史と伝統をもった、我が郷土の祭りについて紹介させていただきます。

## 四国ブロック

主菅・普通寺商工会議所青年部  
総本山善通寺はだかまつり



……境内の照明が消されると、はたか男の群れから、雄叫びと悲鳴ともつかぬ歓声が湧きあがります。次の11月から12月にかけて、その年の豊作に感謝の意をこめて、川の中を神輿が勇壮に渡るのです。とても素晴らしい一途をたどり、その淋しい姿に一人の男が、我々の先輩である全国の代表幹事にもなれた安部谷次郎さんの発想で「大たいまつ」の構想が進められたのが今から八年前の事です。(全長16m、18m、重さ5t、胴回り2m)とてつもない大きな青写真が……それも川の中に立てて神輿が渡る時に燃やすというのです。当時、部会員の大半はこの

区から集まった小学校低学年児童一九二名による「ちびっ子餅運びリレー」そして、近隣の力自レレ、三共、共約八〇名ある大鏡餅を奉持して運ぶ足跡を競う「大人の力餅競べ」を実施している。

敬規氏、更に西条商工会議所からも数名の参加をいただき、七〇〇名のはだか男の渦の中に飛び込んで、「福」を奪いあうという心地的興奮を味わった次第である。

「宝木」に触れることはできなかったものの心身共にはだかの交際をする事によって男の友情が深まり、併せて本年の「運試」を試みる絶好の機会であると思っ。

「燃える大たいまつ」は、長い歴史と伝統をもった祭りに新しい息吹が加わり、今まさに町は確実に変わりにつつあります。

燃える大たいまつは、町全体から見るとほんの小さな物ですが、我々青年部会員がとつたその行動と勇気とで大きく、市民一人一人に与えた衝撃は今後決して消えていきません。

## YEGグッズ紹介コーナー

【浜松青年部】 青年部の歌「伸びゆく大地」オルゴールを紹介します

オルゴールは、特別目新しい商品ではありませんが、特にこの4~5年の間に、各地に専門店や展示館が多数オープンし、今、再び静かなブームを呼んでいます。なぜかといえば、その郷愁を帯びた音色が、性別や年齢や趣味に関係なく、誰にでも受け入れられ親しまれてきたからではないでしょうか。またそれが思い出のメロディーなら、なお感慨深いものがあるでしょう。こんなオルゴールの特性を生かしたYEGグッズが誕生しました。それが、商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」入りのオリジナルオルゴールです。

様々なニーズにお応えできるよう、宝宝箱タイプ(定価5,000円税別)とクリスタルケースタイプ(定価2,500円税別)の2種類を揃えました。クリスタルケースタイプは中の機械が見えるようになっており、金のプレートにはYEGのマークと曲名が入っています。宝宝箱タイプは木製で、中は小物入れになっており、鏡も付いています。また、クリスタルタイプの様なプレートを添付することもでき、これにはYEGのマークが刻印されていて、ご要望に応じて文字を彫刻することが可能です。各種大会や行事の記念品、贈答品として最適です。

当浜松市は「楽器の街」としてだけでなく、「音楽の街」としても活性化に力を注いでおり、このYEGオルゴールをオリジナル商青連グッズとして、ご利用下さるよう自信を持ってお勧めします。



宝宝箱タイプ

クリスタルケースタイプ



# YEGまつりに参加してみませんか!

## 平成5年度 第13回商工会議所青年部全国大会一津大会

11月11日~13日

主管・三重県商工会議所青年部連合会

大会実行委員長 津商工会議所青年部

竹内光伸



「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

平成5年度 第13回商工会議所青年部全国大会・津大会を三重県商工会議所青年部連合会主催のもと三重県の県所在地津市において開催させていただきます。

本年は伊勢神宮第六十回式年遷宮の年でもあり、平成六年には世界祝祭博

文化の国体である国民文化祭の開催をひかえ、いよいよ三重から何かが始まるように思います。

また今年大会は東海アロックにおける初の全国大会でもあり三重県連はもとより東海アロック全体が熱々しております。全国大会へのア

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

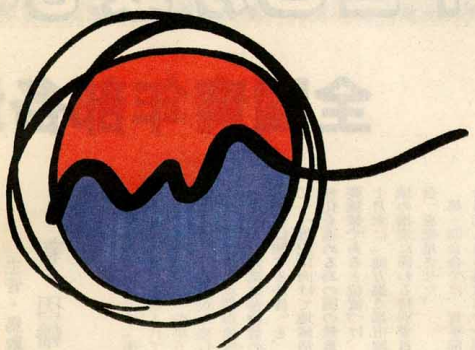
南北に長い三重県は、伊勢志摩、吉野熊野の二国立公園、鈴鹿、室赤目青山

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野

「まっぴん」旅「まっぴん」を基本コンセプトに

尾芭蕉生誕の地伊賀上野、本居宣長や三井家発祥の地松阪など名所旧跡や、焼き蛤の桑名、さぎや伊勢海老に代表される海の幸が豊富な伊勢志摩、尾鷲熊野



シンボルマークデザインコンセプト

円形は日の丸を、そして地球を表現しています。その中に「M」の文字が入り、オレンジは三重の陸地、情熱を表しブルーは伊勢湾の海を表現しています。全体としてファジー感覚で以上の事がらを表現してみました。

### 全国商工会議所青年部会報コンクール結果発表 最優秀賞は奈良商工会議所青年部に決定!

全国商工会議所青年部連合会設立十年記念事業として行われた「会報コンクール」には49点の応募があった。審査は会報づくりの専門家、丸山住民図書館長の協力を得、商青連正副会長会議広報委員会で行った。

表彰式は、平成五年二月十日富山市で開催された中央研修会において会員総会終了後行われ、神谷会長より最優秀の奈良青年部を始め各賞の代表者に表彰状の入った記念品の楯が贈呈された。また入賞作品は会場ロビーに展示され、参加者が熱心に回覧していた。

最優秀賞を受賞された奈良商工会議所青年部の本出良一会長は「受賞できて光栄に思います。親会の会頭も喜んでおり今後一層会報づくりに頑張りたい」と述べていた。

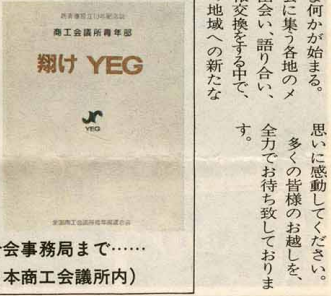
- 入賞作品は
- 最優秀賞 「NEWS なら太鼓」(奈良)
  - 優秀賞 「青樹」(塩釜)
  - 「び〜ぶる」(佐世保)
  - アイデア賞 「轍・わだち」(弘前)
  - トレンド賞 「immovation」(川口)
  - ユニーク賞 「益青かわら版」(益田)
  - 努力賞 「Seinenbu NEWS」(丸亀)
  - 特別賞 「New Leaders Okzaki」(岡崎)
- と決定しました。多数のご応募誠にありがとうございました。



### 商青連設立10年記念誌 翔けYEG 発行!

このたび、商青連特別委員会のご尽力により商青連設立10年記念誌「翔けYEG」が発行された。本書は、商青連のあゆみ、現状、そして、今後の青年部のあり方等、また各地単会の運営、その他会員向けのバイブル的機能もそなえた、読みごたえのある記念誌であり、会員の方々にはぜひ一読いただきたいものである。

お問い合わせは、全国商工会議所青年部連合会事務局まで……  
03-3283-7847 (日本商工会議所内)



## 編集後記

広報委員長として本年に非力な私でありましたが、良きメンバーにめぐまれてどうにか無事役割を終える事ができました。大変お忙しい中、原稿をお願いしました全国YEGの皆様、ご協力本当にありがとうございました。また会報コンクールに応募いただきました素晴らしい各YEGの皆様本当にありがとうございました。来年大山広報委員長を中心とされ、素直に翔生を連れられ、素直に期待しますと共に今後の商青連のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

広報委員長 (高松 芳 敬規)

今年度は芳委員長のもとで広報委員を務めさせていただきました。月一度の打合せで年二回の発行は大変厳しく思っていましたが大変お忙しい中、原稿をお願いしました各YEGの皆様、ご協力本当にありがとうございました。また会報コンクールに応募いただきました素晴らしい各YEGの皆様本当にありがとうございました。来年大山広報委員長を中心とされ、素直に翔生を連れられ、素直に期待しますと共に今後の商青連のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(帯広 大山 隆)

この原稿を運ばれば、商青連出向すべての仕事が終わります。長いようで短い一年間でした。お世話になりました先輩諸氏のみならず、ありがとうございました。

(津久見 佐藤成一)

今年度は芳委員長のもとで広報委員を務めさせていただきました。月一度の打合せで年二回の発行は大変厳しく思っていましたが大変お忙しい中、原稿をお願いしました各YEGの皆様、ご協力本当にありがとうございました。また会報コンクールに応募いただきました素晴らしい各YEGの皆様本当にありがとうございました。来年大山広報委員長を中心とされ、素直に翔生を連れられ、素直に期待しますと共に今後の商青連のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(秋田 賢木新悦)

